

R2. 11. 20 大地会オンライン研修会「自律神経の構造」質問事項

<RSD に関しまして>

先日当クリニックに他院で TKA を行った患者が来院しました。医師からは術後 1 か月で傷の治りが悪く可動域も悪いとのコメントがありました。

術創部を見ると腫れも酷く、創部の周りに発毛が認められておりました。

もちろん反対側の膝には発毛はありませんでした。

このような現象は RSD と聞いたことがありましたので確認したかったところです。

セルフエクササイズでパテラセティングとたくさん歩いていたようでしたので中止したところ、その 2 週間後には腫れが引き、傷の治りがよくなっているコメントを頂きました。

治療は、患部は触れず SJF を実施しました。このようなケースは初めてでしたので、どのような経過(悪化の場合と SJF 使用後の場合)を辿りますでしょうか？

また、痛みや腫れは引きましたが(現在術後 4 カ月)、発毛がまだみられております。

講師回答：回答ですが、その例こそ典型的な RSD です。

Muscle setting と歩行を中止したら腫れと痛みが消失したのが証拠です。

そこまでくれば患者の膝は良好な経過をたどります。

発毛は患者の困る現象ではないので残存しても差し支えは無いでしょう。

その患者さんは先生に出会えてよかったですね。医師と他の PT に任せていたら今頃は腫れと痛みが増大して歩けなくなっていたでしょう。」